

第9回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
教育活動・学校事務部会（会議録）

会議の名称	第9回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 教育活動・学校事務部会
開催日時	令和6年10月23日（水） 午後7時30分から
開催場所	上矢作コミュニティセンター 講堂
議題	各課題の進捗状況について 課題番号20 学校備品、教材備品の整理に関すること 課題番号22 保存文書等の整理に関すること
公開非公開の別	公開
出席者	委員 平林 道博 夏目 裕行 近藤 晃幹 藤田 みのり（オンライン） 鈴木 真弓 小林 康予 片桐 宣伸 後藤 琢磨 深谷 友康 加藤 淳 近松 彩子 松田 正 梶屋 明広 松井 克仁 小栗 史也 三浦 祐揮 藤田 航平 鈴木 直樹 増田 尚子 教育委員会 郷田 賢 各務 恵美 小木曾 健太 岩島 慶尚 三宅 勝義
会議の内容	会議録のとおり

副部会長 皆さん、こんばんは。定刻になりましたので、始めさせていただきます。まずは、ようこそ、上矢作へ。今日も昼間やと、とても川もきれいだし、山も非常に今、緑できれいな時期なんです、夜ということでなかなかそういう景色が見れずなんですけど。

では、第9回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会の教育活動・学校事務部のほうを始めさせていただきます。よろしくお願いします。

まず初めに、部会長より挨拶をいただきます。

部会長 皆さん、改めましてこんばんは。本日はお忙しい中、ありがとうございます。山岡中学校、10月に入って、いよいよ工事が始まりました。今、毎日大きな音が出て、前あった部室、それから駐輪場、もうほぼ壊れてしまいました。もういよいよ後には引けない、いよいよ前に進んでいる感じです。この更になった土地に、新しい校舎が建って、その中で、こんな活動をしたら盛り上がるな、こんなことをしたら面白いな、というようなことを、自分が校長になったつもりで思い描きながら、工事の様子を見ています。今日も皆さん、自分が校長だったら、教育活動を仕組むならというようなつもりで、ぜひ、いろんなご意見をいただきたいと思います。本日はどうも、よろしくお願いします。

副部会長 では、報告事項のほうに入っていきたいと思います。事務局、お願いします。

事務局 それでは、失礼いたします。それでは、事務局のほうから、前回の部会から今日までのところで、大きな流れ等について、確認しながら、今日また、報告ができる内容のほうが少ないとまりましたので、それについてご説明のほうをしていきたいと思います。

まず、前回の部会があったからですけれども、夏休み期間中を中心に、学校のほうで、どのようなものが、どのくらいの数があるのかというような、備品点検の作業のほうを進めました。そして、新中学校になったときの生徒数から照らしたときに、どのくらいの数の備品を、今の山岡中学校のものが使えて、他の学校からどのようなものを持ってくるのかということでしたり、新しく購入したほうが良い備品、どのようなものがあるのかということについて、整理のほうをしてきました。この部会の中では、新しく購入する備品について、何か皆さんにお諮りするようなものがあるときにはお諮りをするということで、今年度流れがスタートしておったわけですが、学校の先生方にも協力をしていただきながらいろいろ調べてくる中で、特にこちらの部会で協議していただくような中身のところはないということで内容がありましたので、今予算のほうで、備品の購入については、第一段階のものについては、進めてきているというような流れが、今日までのところでございます。

そういった中で、こちらの部会の課題の中で、今日説明することについて、またもう少し詳しく説明していきたいと思いますが、その前に、まずはじめに、今日の協議の中でもそうなんですけれども、我々がよりどころとする、目指す恵那南地区の統合中学校の姿ということで、今のところ、この、未来をつくる人とつながる地域とあゆむ、ここのところをよりどころとしながらとい

うところで、今話を進めております。もう少し詳細な目指す姿についても、示していくべきではないかというような意見が、幹事会、理事会等の中でもありましたけれども、そういったところがまだまとまりきっておらず、現段階では、こちら以上のものをお示しするというような段階になっておりませんので、今日の部会については、こちらのところを基にしながら、協議のほうをしていたらというふうに思います。よろしくお願いいたします。

では、課題ごとの進捗状況の報告です。まず、課題17、学校行事に関することについての説明になります。今年度の初めのときに確認をさせていただきましたように、この学校行事に関する事で、今年度この部会で協議することとしては、学校を中心に旅行的な行事を中心に、統合校の学校行事の計画を立てていく中で、部会に進捗状況を報告するとともに、必要に応じて意見を伺うというところがあります。これについて少し動きがありましたので、ご説明をさせていただきます。

まず1番大きな行事として宿泊行事のほうがあると思いますけれども、今画面のほうに示しておりますのが、資料の中にもありますけれども、令和6年度の恵那南地区の中学校の宿泊研修の実態でございます。3年生がどこもそろって東京のほうへ研修に出かけるというような中身です。2年生は海の研修と、隔年で串原中が行っている日間賀島の研修、また上矢作中学校は名古屋への研修というところで、少し違いがあるところです。1年生は旭高原自然の家に出かける学校が2校と、奥矢作レクリエーションセンターのほうに出かける学校が2校、そして海のほうで隔年でということで串原中学校のほうは、そういったいわゆる自然の家のようなところでの研修がないというような実態でございました。

そういった中で、新しい中学校になったときの宿泊研修を考えるにあたり、やはりこれまでそれぞれの学校が培ってきたノウハウ、こういった活動ができるぞとか、こういった危険箇所があるので、そここのところについてはやはり回避したほうがいいぞというようなことを生かせるようにというようなことを中心に検討をしてきました。そこで、令和8年度の恵那南中学校の宿泊研修案としては、今このような内容で準備のほうを進めているところです。3年生は東京研修ということで、1日目が全体研修や職業講和、2日目が班別研修やディズニーランド、3日目が学級別研修やスカイツリーの研修ということで、2泊3日の行程のところを今計画しているところです。予算としては7万円ほどということで、今行っている5校の修学旅行と予算については大きな変更はありません。ただ、物価等が上がっておりますので、実際に行くときには少し上がる可能性はありますけれども、今の段階ではこのぐらいということで、旅行社のほうとも話をしております。時期としては6月の初旬ということで、大きな行事を考えたときに2学期に体育大会と合唱祭のような行事を入れたいと思います。やはりこの宿泊系の行事につきましては1学期に入れたいと思っております。令和8年度開校して間もないというような思いもあるかもしれませんが、そこはこの宿泊行事を通じてそれぞれの学年のスタートのきっかけに

する、人間関係をつくるきっかけにするという狙いをしっかりと持てば、この時期に行うということも十分意味があることではないかというふうに考えました。

2年生です。2年生は若狭、海の研修を計画しております。1日目に漁船クルーズやシーカヤック、そして民泊に分泊をするというような経験をします。この民泊に分泊をすることによって、漁師の方々とのふれあいであったりですとか、そういった職業体験につながるようなお話も聞けるということで、そちらのほうを行ってはどうかというふうに思っております。旅行社さんからの提案で、結構、若狭のほうに行ったときに面白い体験として好評ですよというようなことの中に、座禅体験というものもありまして。まだ、ここ詰めておりませんが、こういったものも中身として詰めていくことができるかなというふうに思っております。そして、浜での学年レクリエーションであったりとか、魚釣り、さばき体験、こういったところを入れていくということで、計画を進めております。こちら6月下旬に1泊2日ということであれば、今旅行社さんのほうで日程を抑えることが可能であるというふうにおっしゃっていただきまして、そちらを仮で抑えながら準備のほうを進めているところです。大体こちらの予算のほうは3万円くらいかなというふうに企画をしているところです。海でいままで篠島が多かったんですけども、若狭のほうを選んだ理由としましては、一番大きなところとしては陸続きであるということです。どうしても船を挟んだときに、船に何かあったときに渡れないというようなこととか、心配があるということで、陸続きのほうは結構安心ですし、船酔い等の心配もないということで、若狭のほうで進めたいと思っているところです。

1年生は旭高原自然の家を計画しております。こちらはウォークラリーや野外炊飯、キャップファイア、そして学年レクリエーション等の2日間ということになります。こちらが一番早くて、5月下旬ごろ、場合によってはゴールデンウィーク明けくらいになるかなと思いますけれども、こちらが1泊2日で、予算が1万円くらいになるかなということを思いつつ、今計画のほうを進めているところです。こういった中身で一番大きな宿泊の行事については計画のほうを進めて準備をしております。

では、報告の2つ目です。報告の2つ目は、課題19の交流事業に関することになります。こちらにつきましては、本年度に協議することとして、交流事業の進捗状況を報告するとともに、必要に応じて意見を伺うというようなことがございました。つい昨日、こちらの1回目の交流事業がありましたので、今日はそのことを報告させていただこうと思います。10月22日火曜日、山岡中学校にて仲間作りゲームですとか、山中ウォークというような内容で、1回目の交流のほうを行いました。こちら写真がちょっと示されています。こちら資料のほうには入っておりませんが、左上の写真のほうは、体育館のほうに集まって、各校全員が集まっていて、全体会をやっているところです。その右側の写真ですけども、こちらのジャンケンとかをしながら、ふれ合っている様子ですけども。そして、下の2枚のところは、グループごとに簡単なコ

コミュニケーションゲームというようなもので、意見交流を交わしているところ
です。こういったようなことを前半取り組みながら行っております。この中に
必ず全ての学校の生徒が入るようにということを意識しながらグルーピングを
しておりますので、どうしても最初は緊張したりですとか、同じ学校の子が2
人いるところもありますので、近くに寄りがちなんですけれども、それでもこ
ういったところの中でちょっとずつ話をする機会が持てたかなと思います。

後半ですけれども、山中ウォークということで、こちら山岡中学校の生徒さん
が案内してくれたかなと思いますけれども、校内を回って、いろんなところを、
こんなところがあるよということを見て回っている様子です。そして下の2枚
ですけれども、帰ってきてから生徒のほうから、こういった意見が出たり感想
が出たりなんていうようなことをまた全体でやったというようなものです。最
後、校長先生からお話をいただいたところです。

この交流授業について、自分が参加できなかったのも、参加していただいた先
生のほうから少し補足をしていただけたかなと思います。お願いします。

事務局

失礼します。昨日、9時40分から1時間程度、交流事業が行われました。参
加人数が110名ちょっとです。この学年の110名が、統合後の最高学年の
3年生になるわけです。ということで、この時期にお互いを知り合おうという
ことで交流事業を行ったわけです。5、6人のグループに分かれて、グループ
活動を通して仲間作りをしたわけですが、前半の仲間作りは、エンカウン
ターといって、いろんな活動を通してお互いが知り合う、そういう活動で進ん
でいきました。休憩後の後半は、山中ウォークということで、現在の山岡中学
校の校舎を回りながら様子を知るという活動でした。そのときには、山岡中学
校の生徒が中心になって、タブレットを持ちながら校内を案内しているという
活動でした。私、最初は、子供たちは緊張しているかなと思ったんですけれ
ども、意外と穏やかで、笑い声があったり、穏やかな本当に有意義な会になっ
たかなということを感じました。以上です。

事務局

こういった交流事業の今後の予定ですけれども、第1回の小学校交流事業とい
うことで、6年生の児童を対象とした交流事業を、12月10日の火曜日に予
定しています。会場は山岡中学校になりますが、内容としてはレクリエーショ
ン大会ということで、講師の先生をお招きして、みんなでレクリエーションス
ポーツのようなものを楽しむというような時間を計画しております。そして、
第2回の中学校の交流事業ですけれども、こちらは3月19日水曜日に予定を
しております。こちらは、今度は生徒が少し企画する側に回ってもらって、ス
ポーツ大会ですとか合唱交流を進めていくというような予定で計画を進めてお
るところです。こちらが交流事業に関することの報告になります。

続きまして、課題23の予算計画に関することです。こちらについても進捗状
況を報告しながらということで、ちょっと今、課題の中身のほうが、スライド
が抜けてしまっておりますけれども、申し訳ございません。中身から説明をし
ていきたいと思います。

令和6年度の恵那南地区の中学校の学校徴収金ということで、今、保護者の

方々が学校のほうにお金を、学習費でありますとか、旅行積立金のようなものを支払っていただいているかと思います。こちらについて、今の学校の運用銀行と取扱銀行ということで、現状をまとめたものがこちらになります。岩邑中はJ Aの東美濃の岩邑支店、山岡中学校がJ Aの東美濃の山岡支店、明智中学校がゆうちょの明智、串原中学校はゆうちょの串原、そして上矢作中学校がJ A東美濃の上村支店ということになっております。おそらく小学校のときに作られた口座をそのまま引き継がれて、こちらのほうが学校徴収金の口座として使用されているという場合が多いかなと思います。これに対して、令和8年度、恵那南中学校の学校徴収金口座ということを考えたときに、やはり場所的に考えて、学校の運用銀行としてはJ Aの東美濃の山岡支店が都合がいいだろうということを考えております。ただ、取扱いの銀行といたしましては、新しく山岡のところに口座を開いてですとか、そこのお金のほうを入れていただいというところ、保護者の方にとっては負担になるところもあるのかなと思いますと、取扱銀行としては、今使っている5つの口座、こういったところから、学校の運用銀行のほうに引き落としをしたり、お金を返金したりというようなことが、一番保護者の方々にとっては都合がいいのかなというようなことを思って、計画のほうを進めているところです。

こちらのメリットとしては、小学校からの取扱銀行をそのまま使用できるということで、一番お手をかける部分としては少なくてはいけるかなというようなことを思っているところです。ただ、1つ問題になってくるのが、引き落としの手数料ですとか、振り込み手数料というところが、差が出てくるというところが1つの課題です。同じJ A同士であるのか、それとも同じJ Aの中の山岡支店の中なのか、違う支店になるのかということで、細かなところは、ご説明は今省きますけれども、引き落とすときの手数料ですとか、返金をする際の手数料、こういったところに差があるというようなことが分かっているところです。

それで、今事務局案としましては、何とか負担の差みたいなのが小さくなる方法等がないかなというようなことですか、最近の社会的な流れみたいなのところも踏まえたときに、こんな方向もあるかなということで、今、計画を進めているところです。1つ目は、学習会計とかP T A会計ではなくて、旅行積立のようなこちらの積立会計を行わないという形です。こちらをとってはどうかということをおもっております。そうしますと、宿泊旅行があるよ、これだけの予算がかかるよというのが明確になった段階で、旅行社から請求書をいただいて、直接ご家庭にお渡しして、直接業者にお支払いをしていただくというようなことになります。アルバムなんかも購入する人には請求書が届くんですけども、購入しないよという人については請求がいかないということで。そこで、買う、買わないでの返金する、しないみたいなのところが少なくなるということで、そういったところでのお金の差みたいなのところが少なくなるかなということをおもっているところです。

ただ、そうなったときに、先ほどお示しましたような修学旅行7万円という

金額が一気に集金されるというところは、なかなか負担もあるかなというようなことを思いますし、旅行社の側からすると、旅行が終わった後に一括で払ってもらるのが一番ありがたいというようなことはあったんですけども、ただ、行ってしまっただけで戻って来て、でもなかなかお金の集金ができないというようなこととかも考えられるときに、それもちよっと心配な点もあるかなというようなことを思いまして。今、旅行者などと相談しているところとしては、こんな方法があるよということで考えているところです。旅行費を分割して、2回から3回ぐらいのところで分割して支払うということで、ある程度の金額を旅行前に支払っていただいて、行った後、いろんな急な出費とかがあるときがありますので、旅行に行ったときには。そういったものも含めた、清算した金額を最後調整として、最後にお支払いしていただくというような分割で支払うということが、旅行社さんのほうと相談しましたら、そういうことは対応可能ですよというふうにして言っただけしております。以前、そういったふうにして取り組んでいた市内の学校もあったということは聞いておりますし、今、恵那市内のほかの中学校でもそういった方向で、積立会計のあり方を少し考えようというような流れもある中で、恵那南中学校につきましても、こういった新しい方法を検討していったらどうかということで、今準備のほうを進めているところです。

積立会計以外の学習費とかPTA会計の部分、こちらはどうしても集金せざるを得ない部分なんですけれども、こちらでも少しでも差が小さくなるようにということで検討しておりますのが、例えば「学校モール」というような間に入る業者ですとか、最近は結構銀行のほうでそういった回収のことを代行しますというような、そういったようなサービスもいろいろ出てきているところです。また、市内の学校でもそういったことを今取り入れようとしている学校もありますので、そういったところの情報を仕入れながら、できるだけ先ほど申し上げたような引き落としや取組手数料の差が生まれないというようなことを考えていったらどうかということを思っているところです。ただ、これに加えて、そうなったときに、これまでの小学校までに経験してきたお金の引き落としというのと、代行業者、学校モールみたいなのが入ったときのやり方とで、学校そのものが変わる、そしてそのお金の扱われ方も変わるということになると、ちょっとそこは急にそれだけ全てのものが変わってしまうよりも、お金については一旦スタートのときは従来型で行っておいて、学校に慣れた段階でその学校モールというものに切替えるとかというような方法も考えられるかなというのを思っておりますので。そういったところは、令和8年度のスタートに全てを間に合わせるということだけではなくて、少し柔軟に検討を進めたいなということを思って、ここまで今案がまとまりつつあるというところでございます。今回の進捗状況の報告としましては以上になります。

副部会長
事務局

ありがとうございました。何かここで質問。

全てが決定している内容というわけではないですので、ご質問を受けても、そこについても検討していきますというようなことであったりですとか、意見が

出たことについても、ここでそれをやります、やりませんとも今言えるところではないんですけれども。ただ、もっとより良いこういった部分があるよとか、この部分も検討してもっといい案にしてというようなご意見等をいただければありがたいなというふうに思います。

副部長 どうぞ。

委員 学校行事とかいろいろ子供たちのことをよく知っている校長さんたちが中心になって事務局案を作ってくさったと思うんですが、最終的に案と書いてありますので、例えば6ページの学校行事に関するところで、令和8年恵那南中学校宿泊研修案と書いているんですが、どこで決まったのですか。最終決定の場合は何ですかね。

事務局 こちらについては、昨年度のこの部会の中で、この後も事務局のほうで決めていきながら、適宜こうやって報告しながら、ご意見をいただいて決めていくということで。決定としては、事務局のほうである程度決めていくというふうにして、流れになっていくというふうにして聞いております。この部会のほうで決定するというのではなくて、部会のほうには報告のほうを適宜させていただきながら、ご意見をいただくというふうに進めておりますけれども。

委員 そんな権限が事務局にあるんですか。事務局でしょう。だから、前も話があったけど、今決めていることは、これ、恵那南中学校の校長が決める権限を持っている。教育課程の編成権とか。それを現在、恵那南中学校の校長が決まっていないもので、それでそのときは誰がやるかという、教育委員会がやるんですよね。教育委員会がやらずに、教育委員会だけでやらないで、統合準備委員会を開いて教育部会というのを作っているもので。簡単に言えば委託しとるという、教育委員会の付属機関のようにやっているから、最終的にここの場で決めなきゃあいけないんじゃないか。事務局が決めていくなんて。何のために私たちはおるんだ。

事務局 ここで、もちろん……

委員 中身についてはいいよ。全然中身についてはしっかり考えてやっていいことだと思うんですけど、じゃあ誰が決めるかといったら、ここで最終決定していかないと。事務局が決めたなんていうようではちょっと困るんじゃないかなと思う。大体事務局にそんな決定権がありますか。設置要綱とかを見たときに、統合準備委員会。

事務局 そうですね。こちらのほうで、それこそこのように報告したときに、いろんな意見をいただきながら、最後こちらの部会のほうで年度末等々に、今年度の最後の進捗状況のほうを話させていただいたときに、今年度分としてはということでご承認いただきたいと思いますけれども。ただその中で、この部会だけではなくて、もう少し審議がいるんじゃないかという意見等が出ればまた考えたいと思います。そのときはこちらの部会のほうでご承認をいただいてというふうに思いますが。全て事務局が決めてしまったのでというふうにするつもりではないんですけれども、あくまで案のほうはこちらで決めさせていただこうと思っております。

委 員 だからこれ、今日の会議に皆さんどうですかって聞けばいいことじゃないの。それだけのことだと思うけど。みんな忙しいのに来ているわけだから、こういうふうに進めたい、どう思いますかってみんなに意見を聞いて、いいよって言ったら案を消せばいい。

事務局 そうですね。今日、特にもっとこうしてほしいというような案が出て、そういう意見がなければ、ここでご承認というふうに進めていかせていただきますけれども。もし改善等の意見をいただいたときには、今ここで改善策を全て提示することは難しいので、そのときは次回まで預からせていただくという意味でご意見いただければと思いますけれども。もし、この通りで進めていいですというふうに言っていただければ、特に旅行等については、もう正式な方向で進めたいと思いますけれども。

副部会長 学校行事のことについて、今このような話がありましたので、この案で進めていっていいかどうかについて、ここで確認させてもらっていいですか。どうでしょうか。賛成という方は、挙手ということでよろしいでしょうか。では、確認したいと思います。学校行事に関する令和8年度の恵那南中学校の宿泊行事案ですが、この案で進めていくということで賛成という方は挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

副部会長 全員賛成ということで、この案で進めていっていただくということでお願いします。

そのほかよろしいでしょうか。

では、報告に関しては、ここで一旦終わらせていただきたいと思います。よろしいでしょうか。

続いて、協議事項のほう、よろしくお願いします。

事務局 では、協議事項について説明させていただきます。課題の20番と22番に関するところで、今日は協議をしていただければと思います。課題ナンバー20、学校備品・教材備品の整理に関することということで、まず、令和6年度に協議することとしましては、不要備品の処分方法を検討という中身がございました。そして、新たに購入する備品を検討というところで、協議が必要な場合に限るということで中身がございました。先ほどもお伝えしましたように、新たに購入する備品の中で、特に何か目新しいというか、普通の学校にある以外のものというようなところが出てきませんでしたので、今回不要備品の処分方法の検討というところが1つの内容になります。

もう1つ、課題22の保存文書等の整理に関することということの中で、5項の歴史資料・寄贈物等の保存、展示方針の検討をするというようなところがございます。このところについても、今日少しご協議をいただきたいところです。それで、備品等の処分についての事務局案ということで、たたき台のほうで作ってまいりました。一番上、5項の備品の把握というのを夏休みにさせていただきました。次に、必要となる備品の把握を進めて、各校から持ってくるもの、購入するものを選定するという、ここまで現在進んでいるところです。

この後、どのようなことが考えられるかといいますと、一番左側ですけれども、確実に新しい学校が必要であるというものですとか、中学校にある遠隔教育用の大きなモニターのようなものは、例えば小学校のほうにそのまま移動させるというような、移動先をもう既に決めているようなものがございます。そういったものについては、移動方法とか移動時期の決定をして、引っ越しをしていくということになりますし、各校のものを確認してくる中で、これはとても使えないというような、結構老朽化したようなものですとか、そういったようなものも明らかになってきております。こちらのほうは、もうこちらのほうで不要品として処分をしていくというような流れになっております。

今日考えていただきたいのは、この真ん中の部分ですけれども、新しい学校に持って行って使うということではないのですが、ただこのまま処分してしまうのもちょっともったいないとか、何かいい活用法があれば活用していただけるのいいのではないかなというような、判断に迷う備品というようなものが幾つか出てきました。そういったところで、これについてどのように対応していくかということについて事務局として考えましたところは、まず新しい学校になっても、すぐにそれぞれの4校を壊してしまうわけではございませんので、1年間は各校でまず一旦保管をしておいていただきながら、1年の中でいろいろな取組をしてくる中で、最初は必要ないかなというふうに思っていたのですけれども、途中でやはりあれいるよね、あそこの学校にあったよねというようなものが出たときに、新しい恵那南中学校へ持っていけるよということ、必要になった場合は恵那南中学校へ持っていくと。そして1年経ったけど、やはりこれはもう使わないねというような、だけどちょっともったいないねというようなものについて、不要品の処分方法を検討して決定していきたいというふうに思うのですけれども。ここのところで、今回の恵那南中学校につきましては、やはり地域のところで活かしていただくということを、一番最初に最優先したいなということを思いまして、一番最初にその5地区の公共施設等で活用していただけるものや場所、そういったところがあれば、そちらで引き取っていただくとか活用していただくというのを一番に持ってきます。その次に、市内の小中学校にこういったものがあるんだけれども、もしよかったら持っていけませんかというようなふうにして確認させていただきます。そして最後に、市内にある他の施設ということで、いろんな他地区にある公共施設等で活用しませんかということで声をかけさせていただきながら、そして最後にそれでも引き取り手がなかったときには不要品としての対応ということで、最終的には処分するしかないのですが。例えばここのところでも、それぞれの地区のイベントなどを使って、うちの地区ではリサイクル市みたいなところをイベントとして企画して、というのができるのであれば、そういったことも対応していただければというような流れにしてはどうかなというようなことを事務局案としては思っております。

いろいろ自分なりに統合等に関するときの処分の方法を見たときに、一般的にはいきなり市内の小中学校というところを一番手に持ってくるというようなと

きが結構あるということを聞いておりますけれども、そのところ今回につきましては、やはり地域で活かしていただけるようにということを一歩手に持ってきたらどうかというようなことが、こちらとしての提案になります。今回こういった流れで処分をするという方法についてご協議いただいて、基本的にはこの方法でいいんじゃないということですか、うちの地区はあその施設があるねということであるとか、うちの地区はイベントのときにこんなことがやれるんじゃないというようなことを、地区の皆様で地区ごとに少し話し合っていて、ご検討いただけるといいのかなということを思って、今日は地区ごとでの席にさせていただいております。

それで、夏休みの作業等の中で、現在までに把握している検討が必要と思われる備品ということで、こういったような中身のものが出てきております。これで全てということではありません。今までの作業の段階として出てきているものが、こういったものがあるということで。ひょっとしたら地域の皆様のほうが、学校の中にこういうものもあったんじゃないというような意見等もお持ちかとは思いますが、そういったところにつきましても逆にこちらのほうに教えていただければ、またそういった情報を学校のほうに返していきたいと思っております。ぱっと見ていただいて、串原中学校のほうが少ないのですけれども、こちらは串原中学校につきましても基本的に小学校のほうに、いろんな備品等については使えるようにお渡しをして使うのでということで、小学校でトランペットを使うことはないということで、例えば吹奏楽をやるようなところとかがもしあれば、そういったところにもらってもらうほうが活用できるのではないかとということで、串原中学校のほうは出ております。また、優勝旗とか山岡中学校とかではなかったりするのですが、それが全くないということではなくて、各学校の状況がまたちょっと違うということですので、今日、それぞれの多くの先生方が見えますので、そういったところをまた情報交流していただきながら、ちょっと検討していただけるといいのかなというようなことを思います。

そういったことを踏まえて、これから地区で話し合っていきたいこととしてはこのような流れになります。各地区で進行役を決めていただきながら、こんなことを意見交流してくださいということが2つあります。1つ目は先ほどお示した図です。1年間保管をするというところから、順番に最後は処分するという図のところで示されていた流れについて賛成するところであったりですか、もしくは改善点等があれば、そういったところについてお話ししていただいて、教えていただきたいと思っております。2つ目が、それぞれの地区の具体的な対応の方法ということで、うちの地区にはこういう場所があるから、あそこにこういったものを持っていくということも可能なのではないかとというような方法です。そういったところについても少し話し合っていて、いい活用場所等のアイデアがたくさんいただけるとありがたいかなと思っております。そして、最後のところで各地区で話し合ったことを交流して、そういったアイデアもあるかなというようなことをそれぞれ持ち帰っていただければと思って

おります。ただ、先ほどのことで、判断に迷う備品等の対応の流れのところについては、今日最後のところでもしご承認いただければ、今日このところで決められるといいかなというようなことは思うところです。

副部会長 では、これからグループワークのほうに入っていきたいと思いますがよろしいでしょうか。今時間が8時12分ですので、多分意見交流の時間をしっかりと取ったほうがいいかなと思いますので、8時40分くらいを目途に全体発表の時間にしたいと思いますので、それぞれの地区ごとに話し合いを始めてください。机の上に専用のメモ用紙、置いてあると思いますので、そちらのほうをご活用ください。

委 員 私、串原なんですけれども、トランペットが判断の基準が迷っているから、これをどうしたらいいかということを話し合う。

副部会長 というよりも、それもですけども、この流れのこの部分。

委 員 ほかの学校ごとの話。

副部会長 そうですね。この大きな流れの部分。ここの先ほどの緑の部分の流れでいいのかという。特に順番的に言うと、最初に地区にという方針でいいかどうかということも含めて、一度皆さんで検討していただきたいと思います。もしかしたら、いや、やっぱり学校のほうがいいんじゃないかというふうなご意見があるかもしれませんし、その辺りも含めて一度、各校の意見を交流していただけるといいかなと思います。よろしいですか。

～グループ討議～

副部会長 では、すいません。各地区で話し合っていたことも発表していただきたいと思います。

順番ですが、先ほどの表の学校の並びで行きたいと思いますので、最初に岩村地区、山岡地区、明智地区、串原地区、最後に上矢作地区というような順番で発表をしていただきたいと思います。

では、岩村地区さん、お願いします。

岩村地区委員 まず、表紙上段の判断に迷う備品等、こちらの事務局案で賛同ということで話がまとまりました。

最終的な不要品への対応としましては、メルカリに出品やフリーマーケットの案が出ました。

ただ、危惧しているのは、メルカリに出品ですと、購入をして、いざ手元になくなっていくということが少なからずある可能性があるので、フリーマーケットみたいに本当にあるものを購入なり、もうもらっていつでもらうなりやって、残ったものをメルカリに出品、ちょっと数が把握しやすくなったら、そういった出品方法について意見が出ました。

以上です。

副部会長 ありがとうございます。

続いて、山岡地区さんお願いします。

山岡地区委員 山岡地区ですが、2番の判断に迷う備品等の対応の流れについては、班のほうで聞いております。

5地区の公共施設に持ってきたらどうかと思う、備品についてはもうちょっと高等学校とか、各団体、個人で欲しい人を募ることができれば期限を設けて、地域でリサイクルできればいいかなと思いました。

あと、下の不要品の最終的な対応方法ですけど、考えたのが、学校でみんなが集まるときに、例えば参観日とか、あと運動会とか小学校に集まったりして、いろんな人の手によって、欲しい人があったりしたらもらって下さいみたいな会ができれば、それで余ったものは処分するというにするといいかなと。以上です。

副部長 ありがとうございます。

続いて、明智地区、お願いします。

明智地区委員 皆さんの意見と同じところもあるんですが、判断に迷う備品等の流れについては、事務局の流れに賛成で、その中で南中のほうへも行かなかったものの、不要品の処分方法の検討というところで、一番は5地区の公共施設、市内の小中学校施設というふうになった。その次に、この5地区の住民の方と言えば、明智の住民の方を優先にアナウンスや展示等をして、下の欄にもちよつかぶってるところはあるんですが、卒業生の方だとか愛着がある方に使ってもらおうというような方法だとか、バザーで利益が少しでも戻れば、南中学校の何かに役立ててもらう資金ができるようになったらいいなということが出ました。あと、跡地利用のほうも同時に、またこのこととはちょっと変わってくることもあるかもしれないんですけど、利用のほうもやっぱり不要品の処分と同様に考えていくべきで、検討したりするほうがいいんじゃないかという意見も出ました。以上です。

副部長 ありがとうございます。

次に、串原地区さん、お願いします。

串原地区委員 ちょっと私見も入りますけれども、判断に迷うということですけど、判断の基準は何かということが一番根本にあって、やはり基本的には恵那南中学校で使うか使わないかという判断の基準で言えば、例えば串原でトランペットどうしますかということだけど、これは1年間置いておいても南中の学校が必要になることはないんじゃないかと思いますよね。

ですから、あとの管理のこともありますけど、学校で保管と言っても、中学校は部室まんま、さんさんたる中が散らばっているような状態でね、残っているというのは、教育委員会としても管理ができないんじゃないかなと思うので、できればもうここにあるものの中で恵那南中で使わないようなものは、さっきの話、順番に一番、地区公共施設、市内小中学校、他の施設といって令和7年度中にやっちゃったらどうなのかなと思うんですけどね。新しい学校がスタートしてから、また備品の管理をやるなんてなると大変かなと新しい校長さんが、思いました。

それから、あと何か絵画とかいう大人の絵画もたくさんいろいろ地域の人が寄

贈してくださったりして残っていることだけど、本当に価値あるものは子供を感化する意味で、山本芳翠の絵があるとか、そういうのだったら新しい学校に持っていきゃいいと思うんですけどね。あまり乗り気じゃないものは、まあ持っていかんでもいいです。みんなたくさん私が描いたと持ってみえるので断るわけにはいかないので、いろいろたくさんあるとか。

それから、子供の絵画も同じように陶芸作品とかあって全国レベルで、全国で入賞したとかそういうのは昔の5つの学校の中の、ある先輩がポスター描いて、これは全国入賞したポスターだよというのがあったら、感化する意味で子供たちの心を耕すから持ってくればいいと思うけど、まあ美術の先生と相談して、それほど出なかったらこれでいいんじゃないのと。

優勝旗やトロフィー、3つぐらいのここに書いてあるんですけど、教えていただいたんですけど、川上の中学校が坂下中に行って、小学校だけ残ったときは、小学校のほうに思い出ルームというような部屋をつくって飾ったそうです。

串原ならできるけど、ほかのところはもともと地理的にも離れているので、これも新校舎の一角に伝統コーナーとか伝統室というのを設けて、各学校の歩みとか優勝旗とかね。校内の優勝旗じゃないですよ、校内の優勝か、明智中学校も入っていたか、よく分かりませんが、そういうものをつくって、一つの学校の伝統や自信をちょっと振り返るところがあってもいいかなと思うんですけど。以上です。

副部会長 ありがとうございました。

では、上矢作地区、お願いします。

上矢作地区委員 上矢作です。これも重なっているんですけども、一番上の判断に迷うというときは、まずは地元の小学校に聞くと、その後、地域で地域自治区で、余ったものは全部集めて、やろうという話がある。収益は宿泊研修の足しにする、でいいんじゃないかと伝えました。

あと2つ目の最終的な不要品への配慮、行先が決まっているようなもの、例えば上矢作で言うと、モンゴルからもらったものの場合、モンゴル村へ返す。あとは土器が専門の機関があって、みたいな話もありました。上矢作でも串原でも意見がありました「思い出ルーム」みたいなことも出来るのではという話もありました。あとは中学校の跡地の利用なんかも、多分市民の皆さんは関心があるのじゃなからうかという意見が出ました。

以上です。

副部会長 ありがとうございました。

事務局 ありがとうございました。

大まかな流れとしては、ご承認いただいているというふうに思いますけれども、細かなところ、ちょっとまとめきれていないところとかありますので、今日いただいたものを基にしながら次回整理させていただいて、ここでご承認いただけるようにまとめたいと思いますので、ありがとうございました。

副部会長 これで一応本日の議事については、全て終わったわけですが、全体として何かご意見やご質問等ありましたら。

委 員 上矢作の〇〇です。旅行の件で、進めるとおっしゃったんですけど、旅行会社というのはもともとつながりがあって、そのような形のコンペになるのでしょうか。それだけ教えてください。

事務局 これについては、今まで5中学校が関わっていた旅行社さんがありますので、まずそこを中心にしてやって、今回で言う分割で払うという、学校が取りまとめないというような支払いの対応がやっていただけますかということも含めてお声がけをさせていただいて、今回ですとそういった対応が今まで付き合いがっている旅行社さんできるということでしたので、後はその中で一社に偏らないようにということで見積りのほうを取って、比較をしながら決めていきたいと思います。

委 員 ありがとうございます。

委 員 もう一ついいですか。今日、備品のことを話し合ったんですけど、部活動の備品というのが話題になっていないと思うんですね。
新しい恵那南中学校になるときに、どれだけの部活ができるかということで必要なバッドを何本持っていくとか、いろいろ決まると思うんですけど、部活動は基本的に開校まで決まらないんですか。

事務局 いや、そんなことはないと思いますけど、先に決めると思いますけど、まだ決まったというふうには聞いておりません。

委 員 ああ、そうですか。

事務局 はい。

副部長 そのほかよろしいでしょうか。

では、ないようですので、次回の会議のことについて事務局から何かあったらお願いします。

事務局 よろしく願いいたします。この会の今の状況等を考えたときに、年度内のところ、あと2回ぐらいの会を開こうかなと思っております。そういったところで、年明けの1月頃に今ご意見いただいたようなところでありますとか、ほかの内容を含めてということで一度会のほうを開いて、もう一回年度末で最後、全部をまとめる会というふうな形で開催するのがちょうどいいんじゃないかなというふうにして思っていますので、1月の開催というふうで思いますけれども、いかがでしょうか。

場所としては1月、あと残りやってないところは明智と串原になっておりますので、どちらかというふうでまた、取れるところを取っていこうと思います。今回も串原だったんですけども、ちょっと取れなかったりとかいうようなこともありますので、取れるほうでということで取っていききたいと思っています。

副部長 では、また次回の開催日等々が決まったら連絡が入るということで、1月に一応串原、明智でお願いできるかだけ、よろしくお願いします。

そのほかよろしいですか。

では、これで第9回の会議のほうを閉じさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。